

会 議 録

会 議 名	平成 2 9 年度第 4 回野田市廃棄物減量等推進審議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の中間見直しについて （公開）
日 時	平成 2 9 年 1 1 月 3 0 日（木） 午後 2 時から午後 3 時まで
場 所	野田市保健センター 3 階大会議室
出 席 委 員	木村 吉郎 山本 和也 小林 明雄 澤田 修 横川しげ子 川嶋 幸子 石原 和子 西村 久行 柴田 貴美 林 元夫 東山 忠義 石原富美子 荒井 義守 渡邊 邦夫 柳沢 享二 藤井 愛子 四方 薫 飯田 駒男 池端えり子 知久 浩 平井 和子 佐藤仲三郎 植田 裕子
欠 席 委 員	渡邊 康子 澤田 好子 森田 佳和 中川 重敏 四日 侑子 吉川 眞弘
事 務 局	環境部長 柏倉 一浩 環境部次長兼清掃計画課長 牛島 修二 環境部参事兼環境保全課長 坂齊 和実 清掃第一課長 岡安 雄一 清掃第一課主幹兼課長補佐 横張 孝雄 清掃計画課長補佐 小沼 京治 清掃計画課ごみ減量係長 山崎 正幸 清掃計画課主任主事 長嶋 一浩 清掃計画課主任主事 新井 由美 清掃計画課主任主事 茂木 大介
傍 聴 者	1 名
議 事	平成 2 9 年度第 4 回野田市廃棄物減量等推進審議会の会議結 果（概要）は、次のとおりである。
1 開会 小沼清掃計画課長補佐	

平成29年11月30日午後2時、開会を宣言した。

会議の成立について報告した。会議の公開及び傍聴について説明した。会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。

2 会長挨拶

3 議事

会長

議案第1号の説明を求めた。

小沼清掃計画課課長補佐

議案第1号、「一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の中間見直しについて」の重点施策などについて説明をした。

A委員

23ページの中段で、「事業系ごみについては、一定の減量効果を得たものの」の文言を削除したらいかがでしょうか。この文脈の後半で「減量施策の効果がはっきりしない」と指摘しているため、「家庭系の減量効果がはっきりしない」という意味にならないでしょうか。また、その次の経済社会活動の多様化というのは、事業系、家庭系の全て係ってきます。事業系ごみが減ったことを評価したい気持ちは分かりますが、あえてここには入れない方が文章としては理解できるのではないのでしょうか。

また、次の文章は、「廃棄物は単なる量的な問題のみではなく、種類や質の多様化が進んでいることから」とした方が良いのではないのでしょうか。その次の「本市においても」も既に前文で書いてありますから、重複しているので削除した方が良いと思います。御検討をお願いします。

牛島環境部次長兼清掃計画課長

「しかしながら」以降の「事業系ごみについては」の部分は、「本市においても、ごみ減量施策の効果がはっきりしない状況にあります。」の逆説的な表現として入れたものでございます。今の御意見を参酌させていただいて事務局で修正をさせていただきます。

会長

「事業系ごみについては」の字句を残すとする、前の文章に入れてしまうということはあると思います。「減量施策を実施してきた結果、事業系ごみについては、一定の減量効果を得ました」と分けることも考えられます。

B委員

29ページの（5）で「促進」という言葉が使われていますが、そのほかは、「推進」という言葉が多いと思います。言葉の意味としては、両方とも積極的に進めるということですが、使われ方の例として推し進める対象が自分たちが主体の場合は、「推進」、他者を促して推し進める場合は、「促進」と使われているようです。ここですと小型家電回収を進めるのは、行政であれば「推進」の方が良いです。

し、逆に学校給食の所も行政なんですけど、促進の方がいいのかとか、一般市民が進めなければならないのは「促進」がいいのか、そうすると全体に影響してきますので、言いにくいのですが、御参考までに申し上げます。

牛島環境部次長兼清掃計画課長

「推進」と「促進」は、意味はそれほど変わらないと思いますが、主体性がどこにあるかということだと思います。小型家電回収では「促進」を使うより「推進」という言葉を使わせていただいて統一性を図ります。

会長

主体性がどこにあるかで、言葉を統一するということですね。

A委員

31ページの「リサイクルセンターの管理運営」ですが、前は新不燃物処理施設を造るということでした。この表現では何を言いたいのかが分かりません。不燃ごみの中にペットボトルなどを入れないでくださいということなら、そういうことでしょうか、リサイクルセンターの運営ということなら、単に不燃物を破碎するだけではなくて、「不燃物に含まれる資源物を手選別で行う」という表現を入れた方が良いでしょう。また、なお書きでも良いですが、市民、事業者の協力による資源物の分別排出についても周知徹底を図るというような趣旨を入れても良いかと思います。管理運営というタイトルでは、読み取れないのではと感じています。

牛島環境部次長兼清掃計画課長

「市民、事業者の協力の下、」が資源回収の所を言っているのか分かりづらいという御指摘ですが、御指摘のとおり、リサイクルセンターの管理運営という題目に基づいて、主に「不燃ごみに混入されている容器包装プラスチック、ペットボトル、金属類などを選別し、資源化率の向上を目指す」という旨の表現に変えさせていただきます。

A委員

プラスチック容器は、集団資源回収品とはなりませんので、それらをまとめて製鉄所の燃料とするなどを行っているわけですから、そのことが分かるように文章として入れてもいいのではないかと思います。

会長

ここに、もう少し具体的に文言を加えることは可能なのでしょうか。

牛島環境部次長兼清掃計画課長

例えば、適正な管理運営を行うとともに、廃プラスチック類、金属類、ペットボトル類とか、実際に混入してきてしまうものなので、そういった資源物を選別することによって、資源化率の向上を目指します。というような趣旨で考えさせていただきます。

C委員

「リサイクルセンターの管理運営」ですが、例えば不燃ごみ袋の中にペットボトルが混入するという事は、リサイクルセンターに何らかの過失、責任があるというわけではなく、そもそもリサイクルセンターに持込をされる前段階で正しい分別が行われていないということが問題となります。したがって30ページの(10)の

「資源の分類と出し方の明確化と周知徹底」の内容とリンクををすると思われます。正しい分別が行われていないという事は、ごみの分別が周知徹底されてない可能性が高いという事になります。そこで、分別のできていない一例、今後取り組まなければならない課題を示すものとして「リサイクルセンターの管理運営」の文言内容を生かし、（１０）の内容に差込みを行う必要があると考えます。例えば、「ペットボトルは、ごみ袋の中に入れてください」とか「資源回収にお出してください」など、周知徹底を行うためにもこれらの文言は残す必要性があると考えます。

牛島環境部次長兼清掃計画課長

事務局の方から御提案を申し上げた３１ページの「リサイクルセンターの管理運営」は、「市民、事業者の協力の下」と的外れな表現をしてしまったためにこういう御意見を頂いていると思います。申し訳ございません。したがって、分別が徹底されていれば、リサイクルセンターに資源物が入ってこないのをそれを明記したらいかかという御意見だと思います。分別の明確化と周知徹底については、３０ページの（１０）で明記していますので、３１ページの「リサイクルセンターの管理運営」は、あくまでも管理運営に特化しまして、表現をさせていただきます。

会長

不燃ごみの中でも実際活用されている部分があるということについて明記していただくのが良いのかなと思います。

B委員

今回の修正の文章とは違うのですが、３０ページの（１１）「自治会等によるごみ減量・リサイクル活動の活性化」ですが、「自治会などとの連携強化を図るため」という表現はおかしいと思います。集団資源回収の拡大が手段のようになってしまいます。ここは調整していただいた方が良くと思います。

牛島環境部次長兼清掃計画課長

すみません。これは言葉になっておりません。「図るため」ではなく、「図りながら」というような趣旨で字句の修正をさせていただきます。

A委員

どれだけ実施できるかということですが、当面は、残り１０％を減量すれば良いわけです。スローガンの３０％減量は、３９年度まで伸びますが、３３年度までの残り１０％減量をどう説明していくか、非常に苦慮するところです。小さく、良く読まないと分からない所に３９年度で３０％減量を目指すと記載されています。新清掃工場を造るに当たって、３９年度まで待たなくてもやらなければならない話ですから、当初予定している焼却能力内の減量は達成しなければならないわけですが、スローガンの掲げた目標を達成することによって、もっと違ったものを市民の皆さんに還元できれば良いと思います。現状では、市民の皆さんに御協力をお願いすることばかりですが、乳幼児の紙おむつ加算の拡大なども取り組んでいます。３０％減量を６年後に求めていくというのは、課題だと思います。

D委員

地区座談会などでも話をしていますが、私の地域でもインパクトのある具体的な

やり方を指導してくれないかと言われますので、地域の指導を含めまして、妙案がないか考えて進めていきたいと思います。

会長

これ以上質問は、ないようですので、本日の審議は、ここまでとし、御意見として出されたものは、事務局案から修正いただくとして、この後パブリック・コメント手続にかけていくということで素案の承認をしてよろしいか。

【異議無し】

会長

では、素案として承認いたします。

小沼清掃計画課長補佐

この後、パブリック・コメント手続を実施しまして、頂いた御意見などで修正させていただきます。次回の開催については、2月下旬くらいになるかと思います。

開催の御案内は1か月前には送付します。御出席をお願い申し上げます。

会長

閉会を宣言した。